

女性技術者からひとこと

日本工営(株)仙台支店
谷口 恭子

『何かを本気でやり始めるまでは、あなたには迷いがあり、たじろぐこともあります。そして常に非効率的です。何かを始めたり創造しようとする時には、一つの基本的な真理があります。

その真理とは、人が心の底から決心する時、神の力が動き出すということです。起こるはずがないようなことが、あなたを助けるために、いろいろと起こってきます。決心した時から、すべてが大きな流れとなって動き出し、それまで誰にも予想も出来なかった事件や出会いや物的援助が、あなたのために起こってくるものです。』

スコットランドのヒマラヤ遠征隊

2002年6月某日

『植物の成長に大事なものは、まだ小さい苗のとき、物心もないようなときに、どんどん成長しても充分必要なものは入ってくるんだという安心感があることです。』

野澤重雄

朝、日の出とともに目覚める。太陽に向かって全身の筋肉を軽く伸ばし、体に朝の挨拶。育ち盛りの畑の野菜たちにも



クマタカの雛

挨拶しながら水をやる。ナス、トマト、キュウリ、ピーマン。今年は不耕起栽培を試みているため、草むらのなかに苗木が埋もれている。そろそろ雑草嫌いのご近所の目が気になる。雑草にも皆名前があるのに。

『時々機会を見つけて外出しなさい。

そしてリラックスしよう。

外から帰ってくると、判断はより確かなものになる。

いつも仕事にへばりついていると、判断力を失ってしまいます。』

レオナルド・ダ・ビンチ

軽い朝食の後、裏山を歩くこと1時間。1ヶ月ぶりに山の主たちにご挨拶。

イヌワシ夫婦の子育ては順調。巣立った幼鳥はまだ巣の周りだけど悠然とした舞を見せてくれた。

クマタカ夫婦の子育てはこれからが本番。まだまだヒヨッコだけど、その表情には王者の風格すら感じられる。



イヌワシ幼鳥

こここのところ、彼らを探偵のように調べる仕事が多い。どこに住んでいるのか、勤務はどのあたりか、別荘はあるのか、

お隣さんとはうまくいっているのか、今年の子作りしているのか、他に早はいるのか。

空を自由に舞うことのできる彼らのことを、どれくらい知ることができているだろう。

『常軌を逸しなさい。

達人の域に達する人は、
常軌を逸する能力があるものです。』

ギタ・ベリン

裏山から帰り、遅い昼食。食べ過ぎて横になるとついウトウト…。

彫刻家の先生のアトリエに行く。生徒さんのひとりが新しい作品の下準備の最終段階、線引きを行なっている。

木彫は粘土によるイメージ作りから始まる。この段階でイメージを明確にしないでないと、ノミを持つことはできない。粘土を削ったりくっつけたりしながらイメージを膨らませる。そして、材を選び、木取り位置を決める。あとは木の中からイメージを彫り出す。線引きどおり忠実に、慎重に、大胆に彫り進める。

彫刻刀を自由に操る技術にばかり気をとられていたが、イメージを明確化させることの難しさ・大切さを知った。



『日々の生活の中に、
より多くの喜びと
より多くの笑いをもたらそう。』

アイリーン・キャディ

気がつくとも夕暮れ。おなかも空いたので、馴染みの旅館をふらっと訪ね夕食をごちそうになる。

宿のとーさんかーさんと山菜で一杯。東北の山の幸はすべてここで教わった。ミズ、アイコ、シドケ、ウルイ、きのこ…。豊かな山の幸から、土地の力だけでなく、人間の力強さを感じる。

ただし、酒も強すぎる。調子に乗ってまた飲みすぎてしまった。

チャリでヨタヨタと自宅へ帰る。うーん。今日も充実した楽しい1日だったなー。

でも、今日もまた何を本気でやり始める決心はつかんかったな。ま、しょうがない。明日考えよう。

ん？ありゃま。会社行くの忘れてしまった。チャンチャン。

*この物語はあくまでフィクションであり、なかなかこうは参りません。